

国名勝指定100周年「大沼の浮島」を学習材に！

5月に開催された学校運営協議会で、大沼の浮島が国名勝指定100周年を迎えるという話をお聞きし、どのように教育活動を進めていくか検討を重ねてきました。

朝日町では、名勝指定100周年を記念し、「大沼の浮島」俳句大会を開催するとの情報も得、俳句を切り口に、「大沼の浮島」を学ぶ学習を計画しました。

山形県で最初となる国名勝に指定された「大沼の浮島」(現在、県内の名勝指定は七か所。内陸では「山寺」と「大沼の浮島」の二か所のみ。。「ヒトモノコトトキ」を活かし、地域の宝を感得する学習となりました。

【俳句を学ぶ】

6月30日 朝日中学校校長 横井真人氏

五七五の型に言葉を入れるのではなく、一番伝えたいことを自分の中ではっきりさせることが大切だと教えていただきました。

中学校の先生に教えていただく貴重な機会となりました。



【浮島を知る】

7月1日 地域活動推進統括コーディネーター 長岡信悦氏

大沼の浮島の歴史や名勝指定の経緯を教えてくださいました。

さらに、大沼の浮島周辺の写真や浮島が実際に動いている動画を見せていただき、現地学習への期待が膨らみました。

【「大沼の浮島」を詠む】

7月9日 大沼の浮島 現地学習

長岡信悦氏に案内をお願いし、周辺を散策しながら、大沼の浮島の歴史、景色、日差し、風、音、香りを感じてきました。

現代を生きる子供たちが、歴史ある浮島を題材にどんな俳句を詠むのか楽しみです。



【校長も一句】 島動く 息のお子らや 蝉時雨 遠藤秀彦

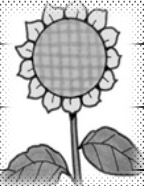
浮島が静かに動いていく湖畔。子供たちが真剣に不思議そうに浮島を見つめている情景を詠んでみました。(紙面の都合上、横書き、分かち書きになっています。ご了承ください。)

馬神昭和新田遺跡 発掘体験

6年生が、遺跡発掘を体験しました。地域の方と様々な連携会議を行っていることについては、これまでの学校だよりでお知らせしましたが、区長の方と語る会で情報をいただいたため実施できた学習です。

6年生は、社会科で学習しているため、縄文時代の遺跡発掘作業に夢中で取り組んでいました。遠い昔に人が住んでいた形跡、そして、発掘した土器を見ながら、古代のくらしに思いを巡らせた貴重な体験でした。



1	金		
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		
8	金		
9	土		
10	日		

11	月	山の日	
12	火	学校開庁	
13	水	学校開庁	
14	木	学校開庁	
15	金	学校開庁	
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水		

21	木		
22	金		
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木	始業式	
29	金		
30	土		
31	日		